

ご使用前に、この台紙の表面及び下記内容を最後まで必ずお読みください。説明文をお読みにならずに設置方法を誤って作業すると、思わぬ損傷等が生じる場合があります。薄型テレビの転倒防止用以外には使用しないでください。また、必要な時に確認できるようにこの台紙は必ず保管しておいてください。

ご使用の目安 (詳しくは中面の取付方法をご覧ください。)

TVサイズ 設置環境	32インチまで (1~2個使用)	33~42インチまで (1~4個使用)	43~60インチまで (4個使用)
前面に1個使用	前面に2個使用	前後に4個使用	
薄型テレビ (テレビを真上から見た図)	90mmのスペースが必要 まちがった使い方		
壁がある場合			
テレビに付属の転倒防止ベルトを使用			
テレビの背面に壁がある場合			

特長

- 密着ジェル+圧搾レバーの激着吸盤式の免震吸盤です。
- 揺れを吸収する3つの免震構造、トリプルパワーで薄型テレビの転倒を防ぎます。
 - ①スポンジアームで押さえて免震
 - ②パネで衝撃を吸収して免震
 - ③激着ジェルで、ゆとりの免震吸着
- 震度7クラスに対応 (30秒間振動テストを公的機関で実験済)
- テレビ台に設置する吸盤式で取り付け簡単。スレや外れに強く、穴あけ、ネジ止め不要でキズつけません。
- この商品 (1個入り) は、32インチ以下の薄型テレビに対応します。2個使いで33~42インチ、4個使いで43~60インチの薄型テレビにもご使用いただけます。(テレビの背面に壁がある場合に限り)
- 壁がない場合は32インチ以下の場合、前後に各1ヶ所 (計2ヶ所)、33~42インチ、43~60インチには前後に各2ヶ所 (計4ヶ所) 取り付けしてください。
- ガラガラしているテレビ台でも真空を保てる素材であれば (※1参照) 取り付けられます。真空が保てない素材の場合は、付属の補助板をご利用ください。(補助板は強力粘着剤で固定されますので、はがした時にテレビ台の表面がめくれたり、キズつくことが想定されます)
- テレビに付属されている転倒防止ベルトを併用しても取り付けられます。(転倒防止ベルトは、テレビに付属されています。付属されていなかったり、ない場合はテレビメーカーへお問い合わせください)

使用上のご注意

- 中面の取付方法の手順に従い正しく設置してください。正しく設置されていないと、思わぬ損傷等が生じる場合があります。
- 薄型テレビの転倒防止用以外には使用しないでください。
- 設置後、24時間放置し外れないことを確認してください。その後は1週間毎に外れないことを確認してください。
- 付属の補助板を使用する場合、テレビ台に強力粘着で固定されますので、はがした時にテレビ台の表面がめくれたり、キズつくことが想定されますのでご注意ください。
- テレビ台の表面や塗装面の劣化により、表面仕上げが剥離する場合があります。
- 本品は吸着力を増すために吸着面に特殊な柔らかい素材を使用している関係上、取り付け場所の素材と経年変化により、対象物にジェルの一部が残って輪ジミになったり、塗装面がはがれたりする場合があります。なお、付いた輪ジミはアルコールでふき取ってください。(付いた箇所をドライヤー等で暖めると効果的です)
- シート貼りのテレビ台で、シート素材が柔らかい場合や接着剤がゆるいものは吸盤の吸着力で素材が引っ張られ、伸びることがあります。それにより、吸着力が弱まる場合があります。
- 当商品による転倒・落下防止対策は、薄型テレビの転倒による破損やけがなどの危害の軽減を意図したものです。すべての地震に対してその効果を保障するものではありません。

品質表示

材 質: ABS樹脂、スチール、熱可塑性ポリウレタン、ウレタン系エラストマー、EVA、ゴムスポンジ、ポリプロピレン、ポリエチレンテレフタレート樹脂

サイ ズ: (約) 83×158×43mm (吸盤直径: 7.8cm)

セット内容: 激着吸盤・免震吸盤×1個、高さ調整スポンジ×1個、転倒防止ベルト固定用ビス&ナット×1セット、補助板×1枚

※タッチストップをしておりますので、取り扱いには十分ご注意ください。
※仕様及び外観・外装は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
※製造には万全を期しておりますが、万一不具合のある場合は良品と交換させていただきます。それ以外の真はご容赦ください。

品名表示 材 質: ABS樹脂、スチール、熱可塑性ポリウレタン、ウレタン系エラストマー、EVA、ゴムスポンジ、ポリプロピレン、ポリエチレンテレフタレート樹脂

サイ ズ: (約) 83×158×43mm (吸盤直径: 7.8cm)

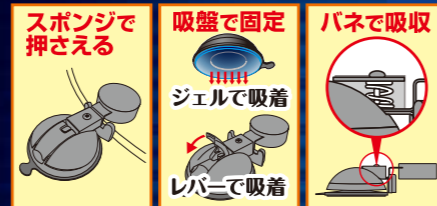
セット内容: 激着吸盤・免震吸盤×1個、高さ調整スポンジ×1個、転倒防止ベルト固定用ビス&ナット×1セット、補助板×1枚

オーダーNO. **1727-9**



33~42インチまで2個
43~60インチまで4個
詳しくは裏面をご確認ください

地震からテレビを守る新方式
免震吸盤



3つの機構で
揺れを吸収する免震構造
工具を使わず簡単設置
穴あけ・ネジ止め不要

震度7クラスに対応!

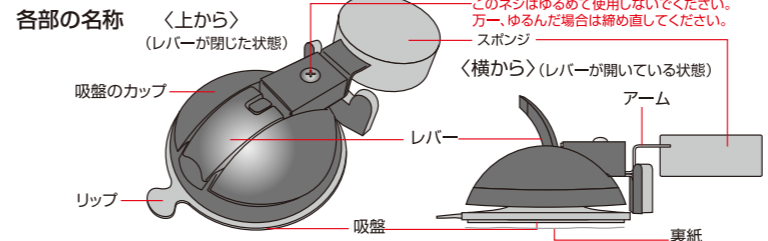
テレビ裏の転倒防止ヘルメット取り付けも可能
テレビを持ち上げずに
テレビ台に簡単取付!



吸盤イメージ
吸盤革命

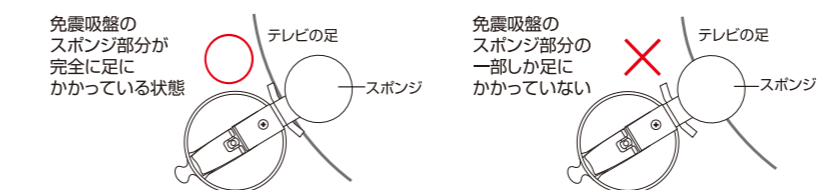
PCT. No. KR08P0425PCT
U.S. PAT No. US7,628,362 B2

PAT.P

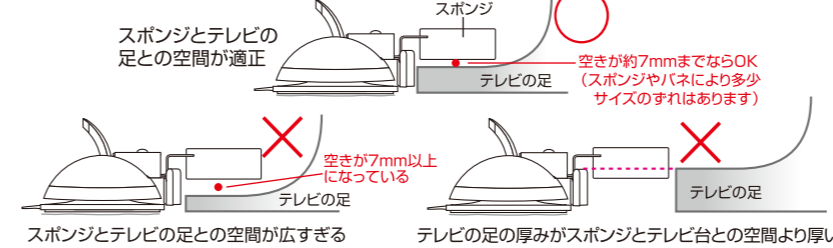


取付方法 ※ご使用前に、使用上のご注意及び、下記の取付方法を必ず最後までお読みいただき、作業にとりかかってください。

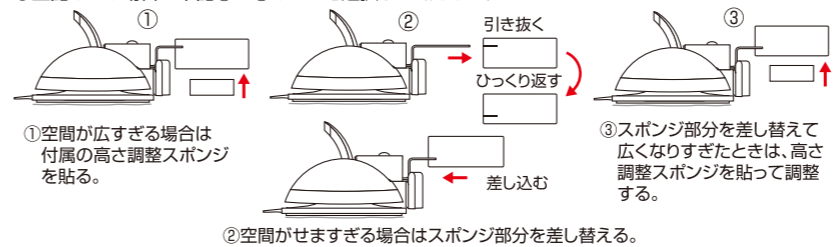
1) 免震吸盤のスポンジ部分全体がテレビの足にかかるように免震吸盤を下図のように配置します。(配置するだけです。レバーはまだ下げず、吸盤の裏紙もはがさない状態で配置してください。)(必ず前に取り付けてください。前にスペースがない場合や後ろに付けたい場合は、テレビに付属されている転倒防止ベルトを使用してください。後ろに付ける場合の取り付け方は、【テレビに付属の転倒防止ベルトを使用する場合】をご参照ください。)



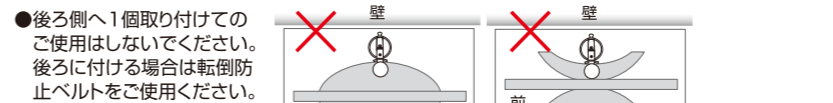
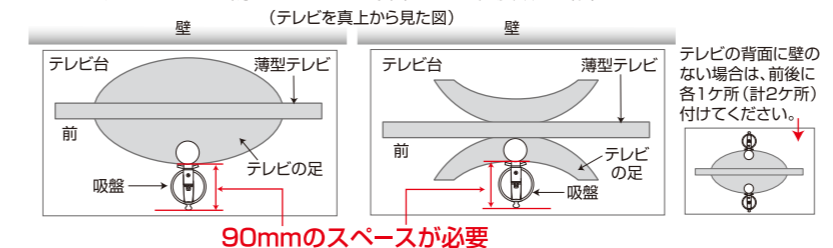
●免震吸盤のスポンジとテレビの足との空間は約7mm以下が適正です。下図を参考に、付属の高さ調整スポンジ等で調整してください。



●上記の×の場合は下記①~③の1つを選択してください。



●テレビの足とスポンジの調整ができれば、下図のように免震吸盤を配置してください。



●後ろ側へ1個取り付けてのご使用はしないでください。後ろに付ける場合は転倒防止ベルトをご使用ください。

2) 配置した位置を覚えておき、一旦吸盤を外して、吸盤の表面に貼られている裏紙をはがしてください。

3) 裏紙が貼られていた吸盤の表面を中性洗剤で洗い、水で洗い流してください。(この時、吸盤表面以外のところに水分が付着しないようにご注意ください)

4) 水で洗い流した吸盤の表面を自然乾燥させます。(この時、布やティッシュ等で拭かないでください。ほこりやゴミが付着し、吸盤の能力が発揮できなくなります)

5) 実際に取り付ける前に、テレビ台、及びテレビの足部分の汚れ、水分、油分、ほこり等を必ず除去してください。

6) 吸盤を1) で配置した位置に置き、吸盤のカップ部分を強く下へ押した状態で、レバーを下げてください。レバーを下げる際には、指に少し抵抗があります。抵抗がない場合は、真空が保てていない状態になっているので、もう一度レバーを上げて吸盤をテレビ台からゆっくりはがして、3)~6)の手順でもう一度付け直してください。

7) 吸盤がなじむまで24時間放置し、外れないことをご確認ください。その後は、1週間毎に外れないことを確認してください。外れてしまう場合は、テレビ台の表面が真空を保てていない素材になっているので、付属の補助板を免震吸盤の吸盤面を取り付ける場所に貼りつけ(はくり紙を外して)ご使用ください。補助板は、強力粘着で固定されますので、はがした時にテレビ台の表面がめくれたり、キズつくことが想定されますのでご注意ください。

【テレビに付属の転倒防止ベルトを使用する場合】

1個で42インチまで対応します。転倒防止ベルトやテレビと転倒防止ベルトを固定するネジ等は、テレビ購入時に付属されています。付属されていない場合はテレビメーカーへお問い合わせください。

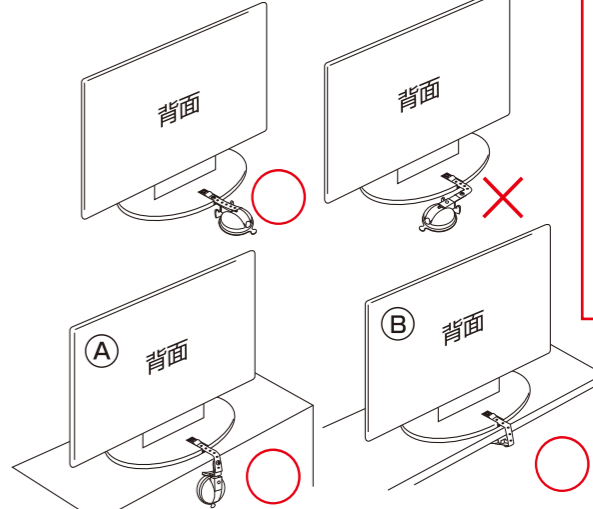
I 免震吸盤のスポンジ部分を引き抜きます。

II テレビと転倒防止ベルトが固定されるベルトの線上に免震吸盤を配置し、位置を決めます。

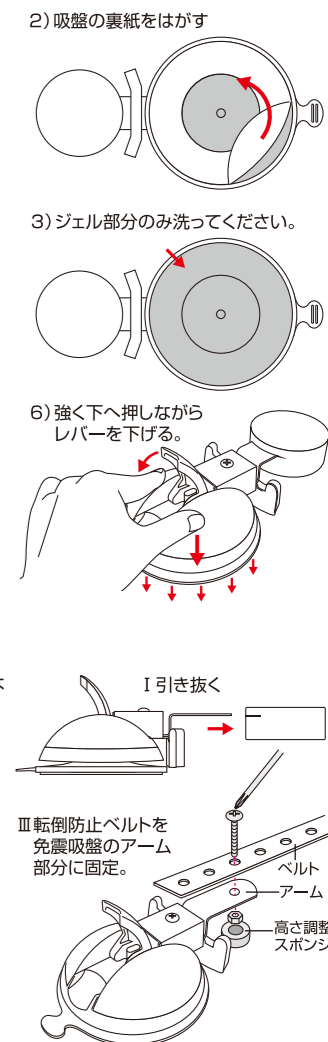
※配置するだけです。レバーはまだ下げず、吸盤の裏紙もはがさない状態で配置してください。

III 転倒防止ベルトを免震吸盤のアーム部分に付属のネジとナットで固定します。ビス・ナットが見えているアームの裏面には、付属の高さ調整スポンジを貼って、ビス・ナット面を見えないようにします。ベルトの反対側もテレビへ固定します。(転倒防止ベルトとテレビの固定方法はテレビの説明書をご参照ください)

IV 上記取付方法の手順2)~7)を参照して免震吸盤を取り付けてください。テレビ台の後ろ部分に免震吸盤を取り付けるスペースがない場合は、テレビ台の天板の裏側に取り付け使用することも可能です。(斜めや横には配置しないでください)設置面が無塗装の木製やプリント合板の場合は、補助板をお使いください。

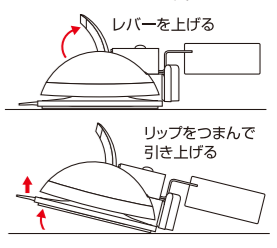


●A)B)は背面に壁がある場合にのみ可能です。



免震吸盤の外し方

レバーを上げてリップをつまみ、密着ジェルがぎざぎざにならないようにゆっくりはがして外します。



リップをつまんで引き上げる